顧客を守る！	▶顧客の生活を支える	レジリエンスに特化した商品やサービスをつくる

015 ウォーターレストイレを設置した個室付き車両の開発

取組主体		
株式会社トイファクトリー		
従業員数	想定災害	実施地域
160 人	全般	全国

能登半島地震を機に、被災地のトイレ環境改善のために、水不要・無臭・衛生的な災害対応の未来型ウォーターレストイレを活用した車両を緊急開発し、被災地支援に役立てた。

1 取組の概要

・キャンピングカーの製造、販売を行う株式会社トイファクトリーは、2024年1月下旬、能登半島地震で長引く断水状況を受け、同社が日本総代理店を務めるスイス製のウォーターレストイレ「clesana（クレサナ）」を活用したトイレカーを緊急開発し、石川県珠洲市（すずし）に派遣した。このトイレカーは同社が販売する自治体向け車両「MARU MOBI」（以下、マルモビ）に個室トイレルームを2部屋加え、つくり上げたものである。

・トイレカーは、2024年1月29日に、約30人が生活していた珠洲市の朝日避難所に派遣され、特にトイレの衛生面でストレスを感じていた女性に向けて、女性専用トイレカーとして設置された。被災地においては衛生面のストレスがメンタルにも影響する。女性専用トイレカーの導入はその緩和に役立った。

「clesana（クレサナ）」を活用したトイレカー

珠洲市における支援の様子

2 取組のきっかけと想い

・能登半島地震の被災地に対し、同社はキャンピングカーメーカーとして、自社のキャンピングカーやキャンピングトレーラーを1月上旬に災害支援として派遣した。キャンピングカーの災害支援で珠洲市に現地入りした際に目にしたのが、断水によるトイレ不足の現状であった。臨時の仮設トイレやトイレカーが緊急設置されているものの、多くが水洗トイレを使用しているため、排せつ物のくみ取りを行うバキュームカーによる処理が追い付いていなかった。仮設トイレは設置されているものの、使用禁止になっている場所が多く見られ、深刻な課題だと感じた。

・キャンピングカーはレジャー用途の側面で注目されがちだが、実は防災用途の側面でも強い味方である。同社はキャンピングカーメーカーとして、常に防災や災害支援の視点を強く意識している背景もあり、トイレカーの構想を進めた。

3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

スピード感ある車両製作

・断水が続き、仮設トイレのくみ取りが追い付かない被災地で、水が不要で衛生的に使用できる「clesana（クレサナ）」を「マルモビ」に活用することにより、トイレ個室を2室設置することが可能となった。これにより、構想か

ら１週間でトイレカーを完成させた。

高性能なウォーターレストイレ

・「clesana（クレサナ）」は、水や化学薬品を使わず、排せつ物を自動で密閉パック化することで、臭いやバクテリアの発生を防ぐ衛生的なウォーターレストイレである。環境に優しく、電源があればどこでも設置可能で、おむつや生理用品なども処理でき、医療現場での使用にも対応している。高品質な７層式フィルムパックで完全密閉され、臭いも気にならない。また、日常と変わらない水洗トイレ形状のデザインを採用し、被災地においても精神的なストレスを緩和することができる。

4 取組の効果

トイレ不足の解消とストレス緩和、防災トイレの認知拡大

・仮設トイレのくみ取り問題で不十分なトイレ環境が続いていた避難所に、断水時にも使用できるトイレを搭載したトイレカーを提供することによりトイレ不足を解消した。特に衛生面でストレスを感じていた女性にとって、臭いもなく清潔に排せつ物を処理でき、ストレス緩和につながったと考えている。また、被災地へのトイレカー派遣による実績を踏まえ、他地域でも「clesana（クレサナ）」を防災備蓄用に自宅や施設、企業、病院などで備えることを検討する動きが増えた。

周囲の声

・「高齢の私でもボタンを押すだけで使用することができ、簡単だった」（避難所の高齢女性）

・「子どもでも簡単に使用することができて助かった。女の子なので特に喜んでいた」（避難所の 40 代女性）

担当者の声

・キャンピングカーメーカーとして、災害大国ニッポンを踏まえ、自治体向け車両「マルモビ」を提案していましたが、トイレモードの構想はありませんでした。能登半島地震での断水とトイレ不足の課題を受け、キャンピングカー用の車載トイレとして新たに導入を始めていた「clesana（クレサナ）」を活用した「マルモビ」を緊急開発し、被災地で役立てたことを誇りに思います。

・この経験を踏まえ、2024 年６月に量産タイプのトイレモードを完成させました。量産タイプでは、トイレ個室も車両から脱着可能で、平時は社用車、災害時はトイレカーなど、多用途に活用できます。

・このような車両を全国の自治体が公用車として備えることで、有事の際に被災地に派遣し、仮設の街をつくることも可能であり、それが弊社の夢です。災害大国ニッポンでしなやかに生き抜くため、キャンピングカーで培った技術で皆様を支えていきたいと考えています。

問合せ先	動画	サイト URL
株式会社トイファクトリー 法人番号：5200001018628 電話番号：0574-63-0667　FAX：0574-62-0144 E-Mail：info@toy-factory.jp　URL：https://toy-factory.jp/	―	